



JWWA—GLP053
水道GLP認定

ご依頼を受けました検査の結果は下記のとおりです。

水質検査結果書

環研 第23K-0006501号

令和5年 7月19日

受付日	令和5年 7月 7日
依頼者	あわら市水道事業管理者 様

厚生労働大臣登録水質検査機関
株式会社 北陸環境科学研究所
〒910-0026 福井県福井市光陽4-4-27
TEL (0776)22-2771 FAX(0776)22-1701
水質検査部門管理者 佐々木 滋

採水年月日及び時刻	令和 5年 7月 7日 10時10分	天 候	前日: ---- 当日: 晴れ
検体の種類	浄水	気 温	---- 水 温 23.8 °C
水道名	中浜	採水者	山崎哲弘
採水場所	----	所属	(株)北陸環境科学研究所
特記事項	----	遊離残留塩素	0.3 mg/L

番号	項目	検査結果	目標値	番号	項目	検査結果	目標値
1	アンチモン及びその化合物	----	0.02 mg/L 以下	24	蒸発残留物	----	30 mg/L 以上 200 mg/L 以下
2	ウラン及びその化合物	----	0.002 mg/L 以下(暫定)	25	濁度	----	1 度 以下
3	ニッケル及びその化合物	----	0.02 mg/L 以下	26	pH値	----	7.5 程度
5	1,2-ジクロロエタン	----	0.004 mg/L 以下	27	腐食性(ランゲリア指数)	----	-1程度以上とし、極力0に近づける
8	トルエン	----	0.4 mg/L 以下	28	従属栄養細菌	----	1mlの検水で形成される集落数が2000以下(暫定)
9	フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	----	0.08 mg/L 以下	29	1,1-ジクロロエチレン	----	0.1 mg/L 以下
10	亜塩素酸	----	0.6 mg/L 以下	30	アルミニウム及びその化合物	----	0.1 mg/L 以下
12	二酸化塩素	----	0.6 mg/L 以下	31	PFOS及びPFOA	0.000005 mg/L 未満	0.00005 mg/L 以下(暫定)
13	ジクロロアセトトリル	----	0.01 mg/L 以下(暫定)				
14	抱水クロラール	----	0.02 mg/L 以下(暫定)				
15	農薬類	----	検出値と目標値の比の和として、1以下				
16	残留塩素	----	1 mg/L 以下				
17	カルシウム・マグネシウム等(硬度)	----	10 mg/L 以上 100 mg/L 以下				
18	マンガン及びその化合物	----	0.01 mg/L 以下				
19	遊離炭酸	----	20 mg/L 以下				
20	1,1,1-トリクロロエタン	----	0.3 mg/L 以下				
21	メチル-tert-ブチルエーテル(MTBE)	----	0.02 mg/L 以下				
22	有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)	----	3 mg/L 以下				
23	臭気強度(TON)	----	3 以下				

検査期日	令和5年 7月 7日 ~ 令和5年 7月19日
検査方法	裏面記載
水道GLP認定項目	水道水質基準項目51項目(項目番号 17、18、24、25、26、30)

水質検査の検査項目(項目番号)、検査方法及び定量下限値(報告下限値)は下記のとおりです

番号	項目	定量下限値	検査方法	番号	項目	定量下限値	検査方法
1	アンチモン及びその化合物	0.002 mg/L	ICP-MS法	24	蒸発残留物	1 mg/L	重量法
2	ウラン及びその化合物	0.0002 mg/L	ICP-MS法	25	濁度	0.1 度	積分球式光電光度法
3	ニッケル及びその化合物	0.002 mg/L	ICP-MS法	26	pH値	----	ガラス電極法
5	1,2-ジクロロエタン	0.0004 mg/L	パージ・トラップ-GC-MS法	27	腐食性(ランゲリア指数)	----	計算法
8	トルエン	0.04 mg/L	パージ・トラップ-GC-MS法	28	従属栄養細菌	0 個/ml	R2A寒天培地法
9	フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	0.008 mg/L	溶媒抽出-GC-MS法	29	1,1-ジクロロエチレン	0.002 mg/L	パージ・トラップ-GC-MS法
10	亜塩素酸	0.06 mg/L	イオンクロマトグラフ法	30	アルミニウム及びその化合物	0.01 mg/L	ICP-MS法
12	二酸化塩素	0.06 mg/L	イオンクロマトグラフ法	31	PFOS及びPFOA	0.000005 mg/L	LC-MS法
13	ジクロロアセトリル	0.001 mg/L	溶媒抽出-GC-MS法	----	----	----	----
14	抱水クロラール	0.002 mg/L	溶媒抽出-GC-MS法	----	----	----	----
15	農薬類	----	----	----	----	----	----
16	残留塩素	0.05 mg/L	ジエチル-p-フェニレンジアミン法	----	----	----	----
17	カルシウム・マグネシウム等(硬度)	1 mg/L	イオンクロマトグラフ法	----	----	----	----
18	マンガン及びその化合物	0.001 mg/L	ICP-MS法	----	----	----	----
19	遊離炭酸	0.5 mg/L	滴定法	----	----	----	----
20	1,1,1-トリクロロエタン	0.03 mg/L	パージ・トラップ-GC-MS法	----	----	----	----
21	メチル-t-ブチルエーテル(MTBE)	0.002 mg/L	パージ・トラップ-GC-MS法	----	----	----	----
22	有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)	0.3 mg/L	滴定法	----	----	----	----
23	臭気強度(TON)	1	官能法	----	----	----	----

水質検査を担当した検査員の職、氏名は下記のとおりです。

理化学的検査区分責任者 笠原 元起

生物学的検査区分責任者 藤丸 陽子



JWWA-GLP053
水道GLP認定

ご依頼を受けました検査の結果は下記のとおりです。

水質検査結果書

環研 第23K-0006502号

令和5年 7月19日

受付日	令和5年 7月 7日
依頼者	あわら市水道事業管理者 様

厚生労働大臣登録水質検査機関
株式会社 北陸環境科学研究所
〒910-0026 福井県福井市光陽4-4-27
TEL (0776)22-2771 FAX(0776)22-1701
水質検査部門管理者 佐々木 滋

採水年月日及び時刻	令和 5年 7月 7日 14時30分	天 候	前日: ---- 当日: 晴れ
検体の種類	浄水	気 温	---- 水 温 23.2℃
水道名	城新田	採水者	山崎哲弘
採水場所	----	所属	(株)北陸環境科学研究所
特記事項	----	遊離残留塩素	0.1 mg/L

番号	項目	検査結果	目標値	番号	項目	検査結果	目標値
1	アンチモン及びその化合物	----	0.02 mg/L 以下	24	蒸発残留物	----	30 mg/L 以上 200 mg/L 以下
2	ウラン及びその化合物	----	0.002 mg/L 以下(暫定)	25	濁度	----	1 度 以下
3	ニッケル及びその化合物	----	0.02 mg/L 以下	26	pH値	----	7.5 程度
5	1,2-ジクロロエタン	----	0.004 mg/L 以下	27	腐食性(ランゲリア指数)	----	-1程度以上とし、極力0に近づける
8	トルエン	----	0.4 mg/L 以下	28	従属栄養細菌	----	1mlの検水で形成される集落数が2000以下(暫定)
9	フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	----	0.08 mg/L 以下	29	1,1-ジクロロエチレン	----	0.1 mg/L 以下
10	亜塩素酸	----	0.6 mg/L 以下	30	アルミニウム及びその化合物	----	0.1 mg/L 以下
12	二酸化塩素	----	0.6 mg/L 以下	31	PFOS及びPFOA	0.000005 mg/L 未満	0.00005 mg/L 以下(暫定)
13	ジクロロアセトトリル	----	0.01 mg/L 以下(暫定)				
14	抱水クロラール	----	0.02 mg/L 以下(暫定)				
15	農薬類	----	検出値と目標値の比の和として、1以下				
16	残留塩素	----	1 mg/L 以下				
17	カルシウム・マグネシウム等(硬度)	----	10 mg/L 以上 100 mg/L 以下				
18	マンガン及びその化合物	----	0.01 mg/L 以下				
19	遊離炭酸	----	20 mg/L 以下				
20	1,1,1-トリクロロエタン	----	0.3 mg/L 以下				
21	メチル-tert-ブチルエーテル(MTBE)	----	0.02 mg/L 以下				
22	有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)	----	3 mg/L 以下				
23	臭気強度(TON)	----	3 以下				

検査期日	令和5年 7月 7日 ~ 令和5年 7月19日
検査方法	裏面記載
水道GLP認定項目	水道水質基準項目51項目(項目番号 17、18、24、25、26、30)

水質検査の検査項目(項目番号)、検査方法及び定量下限値(報告下限値)は下記のとおりです

番号	項目	定量下限値	検査方法	番号	項目	定量下限値	検査方法
1	アンチモン及びその化合物	0.002 mg/L	ICP-MS法	24	蒸発残留物	1 mg/L	重量法
2	ウラン及びその化合物	0.0002 mg/L	ICP-MS法	25	濁度	0.1 度	積分球式光電光度法
3	ニッケル及びその化合物	0.002 mg/L	ICP-MS法	26	pH値	----	ガラス電極法
5	1,2-ジクロロエタン	0.0004 mg/L	パージ・トラップ-GC-MS法	27	腐食性(ランゲリア指数)	----	計算法
8	トルエン	0.04 mg/L	パージ・トラップ-GC-MS法	28	従属栄養細菌	0 個/ml	R2A寒天培地法
9	フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	0.008 mg/L	溶媒抽出-GC-MS法	29	1,1-ジクロロエチレン	0.002 mg/L	パージ・トラップ-GC-MS法
10	亜塩素酸	0.06 mg/L	イオンクロマトグラフ法	30	アルミニウム及びその化合物	0.01 mg/L	ICP-MS法
12	二酸化塩素	0.06 mg/L	イオンクロマトグラフ法	31	PFOS及びPFOA	0.000005 mg/L	LC-MS法
13	ジクロロアセトリル	0.001 mg/L	溶媒抽出-GC-MS法	----	----	----	----
14	抱水クロラール	0.002 mg/L	溶媒抽出-GC-MS法	----	----	----	----
15	農薬類	----	----	----	----	----	----
16	残留塩素	0.05 mg/L	ジエチル-p-フェニレンジアミン法	----	----	----	----
17	カルシウム・マグネシウム等(硬度)	1 mg/L	イオンクロマトグラフ法	----	----	----	----
18	マンガン及びその化合物	0.001 mg/L	ICP-MS法	----	----	----	----
19	遊離炭酸	0.5 mg/L	滴定法	----	----	----	----
20	1,1,1-トリクロロエタン	0.03 mg/L	パージ・トラップ-GC-MS法	----	----	----	----
21	メチル-t-ブチルエーテル(MTBE)	0.002 mg/L	パージ・トラップ-GC-MS法	----	----	----	----
22	有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)	0.3 mg/L	滴定法	----	----	----	----
23	臭気強度(TON)	1	官能法	----	----	----	----

水質検査を担当した検査員の職、氏名は下記のとおりです。

理化学的検査区分責任者 笠原 元起

生物学的検査区分責任者 藤丸 陽子



JWWA—GLP053
水道GLP認定

ご依頼を受けました検査の結果は下記のとおりです。

水質検査結果書

環研 第23K-0006503号

令和5年 7月19日

受付日	令和5年 7月 7日
依頼者	あわら市水道事業管理者 様

厚生労働大臣登録水質検査機関
株式会社 北陸環境科学研究所
〒910-0026 福井県福井市光陽4-4-27
TEL (0776)22-2771 FAX(0776)22-1701
水質検査部門管理者 佐々木 滋

採水年月日及び時刻	令和 5年 7月 7日 15時 0分	天 候	前日: ---- 当日: 晴れ
検体の種類	浄水	気 温	---- 水 温 23.4 °C
水道名	富津	採水者	山崎哲弘
採水場所	----	所属	(株)北陸環境科学研究所
特記事項	----	遊離残留塩素	0.1 mg/L

番号	項目	検査結果	目標値	番号	項目	検査結果	目標値
1	アンチモン及びその化合物	----	0.02 mg/L 以下	24	蒸発残留物	----	30 mg/L 以上 200 mg/L 以下
2	ウラン及びその化合物	----	0.002 mg/L 以下(暫定)	25	濁度	----	1 度 以下
3	ニッケル及びその化合物	----	0.02 mg/L 以下	26	pH値	----	7.5 程度
5	1,2-ジクロロエタン	----	0.004 mg/L 以下	27	腐食性(ランゲリア指数)	----	-1程度以上とし、極力0に近づける
8	トルエン	----	0.4 mg/L 以下	28	従属栄養細菌	----	1mlの検水で形成される集落数が2000以下(暫定)
9	フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	----	0.08 mg/L 以下	29	1,1-ジクロロエチレン	----	0.1 mg/L 以下
10	亜塩素酸	----	0.6 mg/L 以下	30	アルミニウム及びその化合物	----	0.1 mg/L 以下
12	二酸化塩素	----	0.6 mg/L 以下	31	PFOS及びPFOA	0.000005 mg/L 未満	0.00005 mg/L 以下(暫定)
13	ジクロロアセトトリル	----	0.01 mg/L 以下(暫定)				
14	抱水クロラール	----	0.02 mg/L 以下(暫定)				
15	農薬類	----	検出値と目標値の比の和として、1以下				
16	残留塩素	----	1 mg/L 以下				
17	カルシウム・マグネシウム等(硬度)	----	10 mg/L 以上 100 mg/L 以下				
18	マンガン及びその化合物	----	0.01 mg/L 以下				
19	遊離炭酸	----	20 mg/L 以下				
20	1,1,1-トリクロロエタン	----	0.3 mg/L 以下				
21	メチル-tert-ブチルエーテル(MTBE)	----	0.02 mg/L 以下				
22	有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)	----	3 mg/L 以下				
23	臭気強度(TON)	----	3 以下				

検査期日	令和5年 7月 7日 ~ 令和5年 7月19日
検査方法	裏面記載
水道GLP認定項目	水道水質基準項目51項目(項目番号 17、18、24、25、26、30)

水質検査の検査項目(項目番号)、検査方法及び定量下限値(報告下限値)は下記のとおりです

番号	項目	定量下限値	検査方法	番号	項目	定量下限値	検査方法
1	アンチモン及びその化合物	0.002 mg/L	ICP-MS法	24	蒸発残留物	1 mg/L	重量法
2	ウラン及びその化合物	0.0002 mg/L	ICP-MS法	25	濁度	0.1 度	積分球式光電光度法
3	ニッケル及びその化合物	0.002 mg/L	ICP-MS法	26	pH値	----	ガラス電極法
5	1,2-ジクロロエタン	0.0004 mg/L	パージ・トラップ-GC-MS法	27	腐食性(ランゲリア指数)	----	計算法
8	トルエン	0.04 mg/L	パージ・トラップ-GC-MS法	28	従属栄養細菌	0 個/ml	R2A寒天培地法
9	フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	0.008 mg/L	溶媒抽出-GC-MS法	29	1,1-ジクロロエチレン	0.002 mg/L	パージ・トラップ-GC-MS法
10	亜塩素酸	0.06 mg/L	イオンクロマトグラフ法	30	アルミニウム及びその化合物	0.01 mg/L	ICP-MS法
12	二酸化塩素	0.06 mg/L	イオンクロマトグラフ法	31	PFOS及びPFOA	0.000005 mg/L	LC-MS法
13	ジクロロアセトリル	0.001 mg/L	溶媒抽出-GC-MS法	----	----	----	----
14	抱水クロラル	0.002 mg/L	溶媒抽出-GC-MS法	----	----	----	----
15	農薬類	----	----	----	----	----	----
16	残留塩素	0.05 mg/L	ジエチル-p-フェニレンジアミン法	----	----	----	----
17	カルシウム・マグネシウム等(硬度)	1 mg/L	イオンクロマトグラフ法	----	----	----	----
18	マンガン及びその化合物	0.001 mg/L	ICP-MS法	----	----	----	----
19	遊離炭酸	0.5 mg/L	滴定法	----	----	----	----
20	1,1,1-トリクロロエタン	0.03 mg/L	パージ・トラップ-GC-MS法	----	----	----	----
21	メチル-t-ブチルエーテル(MTBE)	0.002 mg/L	パージ・トラップ-GC-MS法	----	----	----	----
22	有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)	0.3 mg/L	滴定法	----	----	----	----
23	臭気強度(TON)	1	官能法	----	----	----	----

水質検査を担当した検査員の職、氏名は下記のとおりです。

理化学的検査区分責任者 笠原 元起

生物学的検査区分責任者 藤丸 陽子



JWWA—GLP053
水道GLP認定

ご依頼を受けました検査の結果は下記のとおりです。

水質検査結果書

環研 第23K-0013401号

令和5年 7月26日

受付日	令和5年 7月13日
依頼者	あわら市水道事業管理者 様

厚生労働大臣登録水質検査機関
株式会社 北陸環境科学研究所
〒910-0026 福井県福井市光陽4-4-27
TEL (0776)22-2771 FAX(0776)22-1701
水質検査部門管理者 佐々木 滋

採水年月日及び時刻	令和 5年 7月13日 10時30分	天 候	前日: ---- 当日: 曇り
検体の種類	浄水	気 温	---- 水 温 25.4 °C
水道名	伊井	採水者	山崎哲弘
採水場所	----	所属	(株)北陸環境科学研究所
特記事項	----	遊離残留塩素	0.1 mg/L

番号	項目	検査結果	目標値	番号	項目	検査結果	目標値
1	アンチモン及びその化合物	----	0.02 mg/L 以下	24	蒸発残留物	----	30 mg/L 以上 200 mg/L 以下
2	ウラン及びその化合物	----	0.002 mg/L 以下(暫定)	25	濁度	----	1 度 以下
3	ニッケル及びその化合物	----	0.02 mg/L 以下	26	pH値	----	7.5 程度
5	1,2-ジクロロエタン	----	0.004 mg/L 以下	27	腐食性(ランゲリア指数)	----	-1程度以上とし、極力0に近づける
8	トルエン	----	0.4 mg/L 以下	28	従属栄養細菌	----	1mlの検水で形成される集落数が2000以下(暫定)
9	フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	----	0.08 mg/L 以下	29	1,1-ジクロロエチレン	----	0.1 mg/L 以下
10	亜塩素酸	----	0.6 mg/L 以下	30	アルミニウム及びその化合物	----	0.1 mg/L 以下
12	二酸化塩素	----	0.6 mg/L 以下	31	PFOS及びPFOA	0.000005 mg/L 未満	0.00005 mg/L 以下(暫定)
13	ジクロロアセトトリル	----	0.01 mg/L 以下(暫定)				
14	抱水クロラール	----	0.02 mg/L 以下(暫定)				
15	農薬類	----	検出値と目標値の比の和として、1以下				
16	残留塩素	----	1 mg/L 以下				
17	カルシウム・マグネシウム等(硬度)	----	10 mg/L 以上 100 mg/L 以下				
18	マンガン及びその化合物	----	0.01 mg/L 以下				
19	遊離炭酸	----	20 mg/L 以下				
20	1,1,1-トリクロロエタン	----	0.3 mg/L 以下				
21	メチル-tert-ブチルエーテル(MTBE)	----	0.02 mg/L 以下				
22	有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)	----	3 mg/L 以下				
23	臭気強度(TON)	----	3 以下				

検査期日	令和5年 7月13日 ~ 令和5年 7月26日
検査方法	裏面記載
水道GLP認定項目	水道水質基準項目51項目(項目番号 17、18、24、25、26、30)

水質検査の検査項目(項目番号)、検査方法及び定量下限値(報告下限値)は下記のとおりです

番号	項目	定量下限値	検査方法	番号	項目	定量下限値	検査方法
1	アンチモン及びその化合物	0.002 mg/L	ICP-MS法	24	蒸発残留物	1 mg/L	重量法
2	ウラン及びその化合物	0.0002 mg/L	ICP-MS法	25	濁度	0.1 度	積分球式光電光度法
3	ニッケル及びその化合物	0.002 mg/L	ICP-MS法	26	pH値	----	ガラス電極法
5	1,2-ジクロロエタン	0.0004 mg/L	パージ・トラップ-GC-MS法	27	腐食性(ランゲリア指数)	----	計算法
8	トルエン	0.04 mg/L	パージ・トラップ-GC-MS法	28	従属栄養細菌	0 個/ml	R2A寒天培地法
9	フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	0.008 mg/L	溶媒抽出-GC-MS法	29	1,1-ジクロロエチレン	0.002 mg/L	パージ・トラップ-GC-MS法
10	亜塩素酸	0.06 mg/L	イオンクロマトグラフ法	30	アルミニウム及びその化合物	0.01 mg/L	ICP-MS法
12	二酸化塩素	0.06 mg/L	イオンクロマトグラフ法	31	PFOS及びPFOA	0.000005 mg/L	LC-MS法
13	ジクロロアセトリル	0.001 mg/L	溶媒抽出-GC-MS法	----	----	----	----
14	抱水クロラール	0.002 mg/L	溶媒抽出-GC-MS法	----	----	----	----
15	農薬類	----	----	----	----	----	----
16	残留塩素	0.05 mg/L	ジエチル-p-フェニレンジアミン法	----	----	----	----
17	カルシウム・マグネシウム等(硬度)	1 mg/L	イオンクロマトグラフ法	----	----	----	----
18	マンガン及びその化合物	0.001 mg/L	ICP-MS法	----	----	----	----
19	遊離炭酸	0.5 mg/L	滴定法	----	----	----	----
20	1,1,1-トリクロロエタン	0.03 mg/L	パージ・トラップ-GC-MS法	----	----	----	----
21	メチル-t-ブチルエーテル(MTBE)	0.002 mg/L	パージ・トラップ-GC-MS法	----	----	----	----
22	有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)	0.3 mg/L	滴定法	----	----	----	----
23	臭気強度(TON)	1	官能法	----	----	----	----

水質検査を担当した検査員の職、氏名は下記のとおりです。

理化学的検査区分責任者 笠原 元起

生物学的検査区分責任者 藤丸 陽子



JWWA—GLP053
水道GLP認定

ご依頼を受けました検査の結果は下記のとおりです。

水質検査結果書

環研 第23K-0013402号

令和5年 7月26日

受付日	令和5年 7月13日
依頼者	あわら市水道事業管理者 様

厚生労働大臣登録水質検査機関
株式会社 北陸環境科学研究所
〒910-0026 福井県福井市光陽4-4-27
TEL (0776)22-2771 FAX(0776)22-1701
水質検査部門管理者 佐々木 滋

採水年月日及び時刻	令和 5年 7月13日 12時55分	天 候	前日: ---- 当日: 曇り
検体の種類	浄水	気 温	---- 水 温 22.3 °C
水道名	東山	採水者	山崎哲弘
採水場所	----	所属	(株)北陸環境科学研究所
特記事項	----	遊離残留塩素	0.1 mg/L

番号	項目	検査結果	目標値	番号	項目	検査結果	目標値
1	アンチモン及びその化合物	----	0.02 mg/L 以下	24	蒸発残留物	----	30 mg/L 以上 200 mg/L 以下
2	ウラン及びその化合物	----	0.002 mg/L 以下(暫定)	25	濁度	----	1 度 以下
3	ニッケル及びその化合物	----	0.02 mg/L 以下	26	pH値	----	7.5 程度
5	1,2-ジクロロエタン	----	0.004 mg/L 以下	27	腐食性(ランゲリア指数)	----	-1程度以上とし、極力0に近づける
8	トルエン	----	0.4 mg/L 以下	28	従属栄養細菌	----	1mlの検水で形成される集落数が2000以下(暫定)
9	フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	----	0.08 mg/L 以下	29	1,1-ジクロロエチレン	----	0.1 mg/L 以下
10	亜塩素酸	----	0.6 mg/L 以下	30	アルミニウム及びその化合物	----	0.1 mg/L 以下
12	二酸化塩素	----	0.6 mg/L 以下	31	PFOS及びPFOA	0.000005 mg/L 未満	0.00005 mg/L 以下(暫定)
13	ジクロロアセトリル	----	0.01 mg/L 以下(暫定)				
14	抱水クロラール	----	0.02 mg/L 以下(暫定)				
15	農薬類	----	検出値と目標値の比の和として、1以下				
16	残留塩素	----	1 mg/L 以下				
17	カルシウム・マグネシウム等(硬度)	----	10 mg/L 以上 100 mg/L 以下				
18	マンガン及びその化合物	----	0.01 mg/L 以下				
19	遊離炭酸	----	20 mg/L 以下				
20	1,1,1-トリクロロエタン	----	0.3 mg/L 以下				
21	メチル-tert-ブチルエーテル(MTBE)	----	0.02 mg/L 以下				
22	有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)	----	3 mg/L 以下				
23	臭気強度(TON)	----	3 以下				

検査期日	令和5年 7月13日 ~ 令和5年 7月26日
検査方法	裏面記載
水道GLP認定項目	水道水質基準項目51項目(項目番号 17、18、24、25、26、30)

水質検査の検査項目(項目番号)、検査方法及び定量下限値(報告下限値)は下記のとおりです

番号	項目	定量下限値	検査方法	番号	項目	定量下限値	検査方法
1	アンチモン及びその化合物	0.002 mg/L	ICP-MS法	24	蒸発残留物	1 mg/L	重量法
2	ウラン及びその化合物	0.0002 mg/L	ICP-MS法	25	濁度	0.1 度	積分球式光電光度法
3	ニッケル及びその化合物	0.002 mg/L	ICP-MS法	26	pH値	----	ガラス電極法
5	1,2-ジクロロエタン	0.0004 mg/L	パージ・トラップ-GC-MS法	27	腐食性(ランゲリア指数)	----	計算法
8	トルエン	0.04 mg/L	パージ・トラップ-GC-MS法	28	従属栄養細菌	0 個/ml	R2A寒天培地法
9	フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	0.008 mg/L	溶媒抽出-GC-MS法	29	1,1-ジクロロエチレン	0.002 mg/L	パージ・トラップ-GC-MS法
10	亜塩素酸	0.06 mg/L	イオンクロマトグラフ法	30	アルミニウム及びその化合物	0.01 mg/L	ICP-MS法
12	二酸化塩素	0.06 mg/L	イオンクロマトグラフ法	31	PFOS及びPFOA	0.000005 mg/L	LC-MS法
13	ジクロロアセトリル	0.001 mg/L	溶媒抽出-GC-MS法	----	----	----	----
14	抱水クロラール	0.002 mg/L	溶媒抽出-GC-MS法	----	----	----	----
15	農薬類	----	----	----	----	----	----
16	残留塩素	0.05 mg/L	ジエチル-p-フェニレンジアミン法	----	----	----	----
17	カルシウム・マグネシウム等(硬度)	1 mg/L	イオンクロマトグラフ法	----	----	----	----
18	マンガン及びその化合物	0.001 mg/L	ICP-MS法	----	----	----	----
19	遊離炭酸	0.5 mg/L	滴定法	----	----	----	----
20	1,1,1-トリクロロエタン	0.03 mg/L	パージ・トラップ-GC-MS法	----	----	----	----
21	メチル-t-ブチルエーテル(MTBE)	0.002 mg/L	パージ・トラップ-GC-MS法	----	----	----	----
22	有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)	0.3 mg/L	滴定法	----	----	----	----
23	臭気強度(TON)	1	官能法	----	----	----	----

水質検査を担当した検査員の職、氏名は下記のとおりです。

理化学的検査区分責任者 笠原 元起

生物学的検査区分責任者 藤丸 陽子



JWWA—GLP053
水道GLP認定

ご依頼を受けました検査の結果は下記のとおりです。

水質検査結果書

環研 第23K-0013403号

令和5年 7月26日

受付日	令和5年 7月13日
依頼者	あわら市水道事業管理者 様

厚生労働大臣登録水質検査機関
株式会社 北陸環境科学研究所
〒910-0026 福井県福井市光陽4-4-27
TEL (0776)22-2771 FAX(0776)22-1701
水質検査部門管理者 佐々木 滋

採水年月日及び時刻	令和 5年 7月13日 11時15分	天 候	前日: ---- 当日: 曇り
検体の種類	浄水	気 温	---- 水 温 24.1℃
水道名	牛ノ谷	採水者	山崎哲弘
採水場所	----	所属	(株)北陸環境科学研究所
特記事項	----	遊離残留塩素	0.1 mg/L

番号	項目	検査結果	目標値	番号	項目	検査結果	目標値
1	アンチモン及びその化合物	----	0.02 mg/L 以下	24	蒸発残留物	----	30 mg/L 以上 200 mg/L 以下
2	ウラン及びその化合物	----	0.002 mg/L 以下(暫定)	25	濁度	----	1 度 以下
3	ニッケル及びその化合物	----	0.02 mg/L 以下	26	pH値	----	7.5 程度
5	1,2-ジクロロエタン	----	0.004 mg/L 以下	27	腐食性(ランゲリア指数)	----	-1程度以上とし、極力0に近づける
8	トルエン	----	0.4 mg/L 以下	28	従属栄養細菌	----	1mlの検水で形成される集落数が2000以下(暫定)
9	フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	----	0.08 mg/L 以下	29	1,1-ジクロロエチレン	----	0.1 mg/L 以下
10	亜塩素酸	----	0.6 mg/L 以下	30	アルミニウム及びその化合物	----	0.1 mg/L 以下
12	二酸化塩素	----	0.6 mg/L 以下	31	PFOS及びPFOA	0.000005 mg/L 未満	0.00005 mg/L 以下(暫定)
13	ジクロロアセトニトリル	----	0.01 mg/L 以下(暫定)				
14	抱水クロラール	----	0.02 mg/L 以下(暫定)				
15	農薬類	----	検出値と目標値の比の和として、1以下				
16	残留塩素	----	1 mg/L 以下				
17	カルシウム・マグネシウム等(硬度)	----	10 mg/L 以上 100 mg/L 以下				
18	マンガン及びその化合物	----	0.01 mg/L 以下				
19	遊離炭酸	----	20 mg/L 以下				
20	1,1,1-トリクロロエタン	----	0.3 mg/L 以下				
21	メチル-tert-ブチルエーテル(MTBE)	----	0.02 mg/L 以下				
22	有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)	----	3 mg/L 以下				
23	臭気強度(TON)	----	3 以下				

検査期日	令和5年 7月13日 ~ 令和5年 7月26日
検査方法	裏面記載
水道GLP認定項目	水道水質基準項目51項目(項目番号 17、18、24、25、26、30)

水質検査の検査項目(項目番号)、検査方法及び定量下限値(報告下限値)は下記のとおりです

番号	項目	定量下限値	検査方法	番号	項目	定量下限値	検査方法
1	アンチモン及びその化合物	0.002 mg/L	ICP-MS法	24	蒸発残留物	1 mg/L	重量法
2	ウラン及びその化合物	0.0002 mg/L	ICP-MS法	25	濁度	0.1 度	積分球式光電光度法
3	ニッケル及びその化合物	0.002 mg/L	ICP-MS法	26	pH値	----	ガラス電極法
5	1,2-ジクロロエタン	0.0004 mg/L	パージ・トラップ-GC-MS法	27	腐食性(ランゲリア指数)	----	計算法
8	トルエン	0.04 mg/L	パージ・トラップ-GC-MS法	28	従属栄養細菌	0 個/ml	R2A寒天培地法
9	フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	0.008 mg/L	溶媒抽出-GC-MS法	29	1,1-ジクロロエチレン	0.002 mg/L	パージ・トラップ-GC-MS法
10	亜塩素酸	0.06 mg/L	イオンクロマトグラフ法	30	アルミニウム及びその化合物	0.01 mg/L	ICP-MS法
12	二酸化塩素	0.06 mg/L	イオンクロマトグラフ法	31	PFOS及びPFOA	0.000005 mg/L	LC-MS法
13	ジクロロアセトリル	0.001 mg/L	溶媒抽出-GC-MS法	----	----	----	----
14	抱水クロラール	0.002 mg/L	溶媒抽出-GC-MS法	----	----	----	----
15	農薬類	----	----	----	----	----	----
16	残留塩素	0.05 mg/L	ジエチル-p-フェニレンジアミン法	----	----	----	----
17	カルシウム・マグネシウム等(硬度)	1 mg/L	イオンクロマトグラフ法	----	----	----	----
18	マンガン及びその化合物	0.001 mg/L	ICP-MS法	----	----	----	----
19	遊離炭酸	0.5 mg/L	滴定法	----	----	----	----
20	1,1,1-トリクロロエタン	0.03 mg/L	パージ・トラップ-GC-MS法	----	----	----	----
21	メチル-t-ブチルエーテル(MTBE)	0.002 mg/L	パージ・トラップ-GC-MS法	----	----	----	----
22	有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)	0.3 mg/L	滴定法	----	----	----	----
23	臭気強度(TON)	1	官能法	----	----	----	----

水質検査を担当した検査員の職、氏名は下記のとおりです。

理化学的検査区分責任者 笠原 元起

生物学的検査区分責任者 藤丸 陽子



JWWA—GLP053
水道GLP認定

ご依頼を受けました検査の結果は下記のとおりです。

水質検査結果書

環研 第23K-0013404号

令和5年 7月26日

受付日	令和5年 7月13日
依頼者	あわら市水道事業管理者 様

厚生労働大臣登録水質検査機関
株式会社 北陸環境科学研究所
〒910-0026 福井県福井市光陽4-4-27
TEL (0776)22-2771 FAX(0776)22-1701
水質検査部門管理者 佐々木 滋

採水年月日及び時刻	令和 5年 7月13日 9時 5分	天 候	前日: ---- 当日: 曇り
検体の種類	浄水	気 温	---- 水 温 25.8℃
水道名	金津こども園	採水者	山崎哲弘
採水場所	----	所属	(株)北陸環境科学研究所
特記事項	----	遊離残留塩素	0.2 mg/L

番号	項目	検査結果	目標値	番号	項目	検査結果	目標値
1	アンチモン及びその化合物	----	0.02 mg/L 以下	24	蒸発残留物	----	30 mg/L 以上 200 mg/L 以下
2	ウラン及びその化合物	----	0.002 mg/L 以下(暫定)	25	濁度	----	1 度 以下
3	ニッケル及びその化合物	----	0.02 mg/L 以下	26	pH値	----	7.5 程度
5	1,2-ジクロロエタン	----	0.004 mg/L 以下	27	腐食性(ランゲリア指数)	----	-1程度以上とし、極力0に近づける
8	トルエン	----	0.4 mg/L 以下	28	従属栄養細菌	----	1mlの検水で形成される集落数が2000以下(暫定)
9	フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	----	0.08 mg/L 以下	29	1,1-ジクロロエチレン	----	0.1 mg/L 以下
10	亜塩素酸	----	0.6 mg/L 以下	30	アルミニウム及びその化合物	----	0.1 mg/L 以下
12	二酸化塩素	----	0.6 mg/L 以下	31	PFOS及びPFOA	0.000005 mg/L 未満	0.00005 mg/L 以下(暫定)
13	ジクロロアセトリル	----	0.01 mg/L 以下(暫定)				
14	抱水クロラール	----	0.02 mg/L 以下(暫定)				
15	農薬類	----	検出値と目標値の比の和として、1以下				
16	残留塩素	----	1 mg/L 以下				
17	カルシウム・マグネシウム等(硬度)	----	10 mg/L 以上 100 mg/L 以下				
18	マンガン及びその化合物	----	0.01 mg/L 以下				
19	遊離炭酸	----	20 mg/L 以下				
20	1,1,1-トリクロロエタン	----	0.3 mg/L 以下				
21	メチル-tert-ブチルエーテル(MTBE)	----	0.02 mg/L 以下				
22	有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)	----	3 mg/L 以下				
23	臭気強度(TON)	----	3 以下				

検査期日	令和5年 7月13日 ~ 令和5年 7月26日
検査方法	裏面記載
水道GLP認定項目	水道水質基準項目51項目(項目番号 17、18、24、25、26、30)

水質検査の検査項目(項目番号)、検査方法及び定量下限値(報告下限値)は下記のとおりです

番号	項目	定量下限値	検査方法	番号	項目	定量下限値	検査方法
1	アンチモン及びその化合物	0.002 mg/L	ICP-MS法	24	蒸発残留物	1 mg/L	重量法
2	ウラン及びその化合物	0.0002 mg/L	ICP-MS法	25	濁度	0.1 度	積分球式光電光度法
3	ニッケル及びその化合物	0.002 mg/L	ICP-MS法	26	pH値	----	ガラス電極法
5	1,2-ジクロロエタン	0.0004 mg/L	パージ・トラップ-GC-MS法	27	腐食性(ランゲリア指数)	----	計算法
8	トルエン	0.04 mg/L	パージ・トラップ-GC-MS法	28	従属栄養細菌	0 個/ml	R2A寒天培地法
9	フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	0.008 mg/L	溶媒抽出-GC-MS法	29	1,1-ジクロロエチレン	0.002 mg/L	パージ・トラップ-GC-MS法
10	亜塩素酸	0.06 mg/L	イオンクロマトグラフ法	30	アルミニウム及びその化合物	0.01 mg/L	ICP-MS法
12	二酸化塩素	0.06 mg/L	イオンクロマトグラフ法	31	PFOS及びPFOA	0.000005 mg/L	LC-MS法
13	ジクロロアセトリル	0.001 mg/L	溶媒抽出-GC-MS法	----	----	----	----
14	抱水クロラール	0.002 mg/L	溶媒抽出-GC-MS法	----	----	----	----
15	農薬類	----	----	----	----	----	----
16	残留塩素	0.05 mg/L	ジエチル-p-フェニレンジアミン法	----	----	----	----
17	カルシウム・マグネシウム等(硬度)	1 mg/L	イオンクロマトグラフ法	----	----	----	----
18	マンガン及びその化合物	0.001 mg/L	ICP-MS法	----	----	----	----
19	遊離炭酸	0.5 mg/L	滴定法	----	----	----	----
20	1,1,1-トリクロロエタン	0.03 mg/L	パージ・トラップ-GC-MS法	----	----	----	----
21	メチル-t-ブチルエーテル(MTBE)	0.002 mg/L	パージ・トラップ-GC-MS法	----	----	----	----
22	有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)	0.3 mg/L	滴定法	----	----	----	----
23	臭気強度(TON)	1	官能法	----	----	----	----

水質検査を担当した検査員の職、氏名は下記のとおりです。

理化学的検査区分責任者 笠原 元起

生物学的検査区分責任者 藤丸 陽子